

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市西区北原・田尻3街区マンション 新築工事	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市西区北原・田尻3街区	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、北原・田尻地区計画、法22条地域	平均居住人員	400 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年5月23日
敷地面積	7,618 m ²	作成者	黒田 美由紀
建築面積	2,688 m ²	確認日	2023年5月24日
延床面積	16,299 m ²	確認者	佐々木 優



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.7**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.3**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>遮音性能や汚染対策に配慮がなされ、さらに断熱等性能等級4、BEE値0.88を満たすなど、住環境の向上に配慮がなされている。</p> <p>さらに夜間照明等を設置することで、防犯性にも配慮されている。</p> <p>また、駐車施設や荷捌き車両等の搬入経路など、周辺環境にも配慮している。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>断熱等性能等級4を満たすように断熱材の計画がなされ、また開口部や床の遮音性能を上げるなど、室内空間の快適性を確保している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>共用部分において、バリアフリーに配慮した計画がなされている。</p> <p>配管などの更新必要間隔の長いものを使用するなど、耐用性を確保している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>2階にはカフェテラスを設けて、開放的な空間を内部空間とうまく連続させている。また、光害の抑制に配慮しながらも、建物外部には夜間照明等を設置し、防犯性にも配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱等性能等級4を満たし、さらにBEE値0.88と一次エネルギー消費量を低く抑えるなどのエネルギー削減への配慮がなされている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型便器の採用により節水に配慮している。</p> <p>有害物質を含まない材料の使用や、ノンフロンの断熱材を使用するなど、汚染対策にも配慮がなされている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>周辺に、渋滞や路上駐車を発生させないために、自転車(バイク)や、自動車、荷捌き車両等の置き場を適切に確保し、車両出入口の配置や数も配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される